

戦争継続に反対するウクライナ平和主義運動の声明

Statement of The Ukrainian Pacifist Movement Against Perpetuation of War

2022年4月22日

ウクライナ平和主義運動

ウクライナ平和主義運動は、ロシアとウクライナの紛争を平和的に解決するための橋がかりが双方でさかんに燃やされ、統治者の野心を達成する流血を無期限に続けようとする意図が示されていることを深く懸念しています。

私たちは、2022年2月24日にウクライナに侵攻したロシアの決定を非難します。それは致命的なエスカレーションと数千人の死者をもたらしました。

またロシアによる侵略のエスカレーションに先立ってドンバス地方でロシアとウクライナ双方の戦闘員がミンスク協定の停戦を破っていることを改めて非難します。

私たちは、紛争当事者の双方がナチスのような敵だとか戦争犯罪者だとかいうレッテル貼りをしていることを非難します。それらはお互いが不倶戴天の敵だとする当局のプロパンガンダによって強化され、法律にまでされています。

法律は戦争を煽るものではなく、平和を築くものであるべきであり、歴史は、戦争を続けるための言い訳ではなく、人々がいかにして平和な生活に戻ることができるかの例を示すべきです。

犯罪の責任追及は、特に大量虐殺のような最も重大な犯罪においては、公平かつ公正な調査の結果、独立した有能な司法機関により、法の適正な手続きに則って行わなければなりません。

軍事的残虐行為の悲劇的な結果が、憎悪を煽り、新たな残虐行為を正当化するために利用されてはなりません。反対に、そのような悲劇は、闘争心を冷まし、血を流さずに戦争を終わらせる方法を粘り強く探求することに役立つべきです。

私たちは、民間人に危害を加える敵対行為と双方の軍事行動を非難します。銃撃

を停止し、すべての側が殺された人々の記憶を尊重し、しかるべき悲しみの後に、冷静かつ誠実に和平交渉に取り組むべきです。

私たちは、ロシア側が、交渉で達成できない場合は軍事的手段で特定の目標を達成すると表明していることを非難します。またウクライナ側が、和平交渉の継続は戦場において最も交渉に有利な立場を勝ち取ることに依存すると表明していることを非難します。両方が和平交渉中の停戦に背を向けていることを非難します。

私たちは、ロシアとウクライナの双方で、平和な人々の意思に反して、民間人に兵役につかせて軍事任務を行わせ、軍隊の支援を強制していることを非難します。このような慣行は、特に敵対行為中に、国際人道法における軍人と民間人の区別の原則に著しく違反するものです。良心的兵役拒否の権利を侮蔑するいかなる形態も容認することはできません。

私たちは、ロシアと NATO 諸国がウクライナの過激派に提供しているすべての軍事支援を非難します。これらは軍事衝突をさらにエスカレートさせています。私たちは、ウクライナと世界中の平和を愛するすべての人々が、いかなる状況においても平和を愛する人々であり続け、他の人々が平和を愛する人々となるのを助け、平和で非暴力な生活様式に関する知識を収集し広め、真実を語り、それが平和を愛する人々を結束し、暴力なしに悪と不正義と抵抗し、必要、有益、不可避そして公正な戦争についての神話を否定していくよう呼びかけます。

私たちは今、特に行動を起こすことを求めません。平和計画が軍国主義者の憎悪や攻撃の対象にならないようにするためです。しかし、世界中の平和主義者が、最高の夢を実際に実現するための良い想像力と経験を持っていることを確信しています。

私たちの行動は、恐怖心ではなく、平和で幸せな未来への希望によって導かれるべきなのです。私たちの平和活動が、夢から未来を近づけるようにしましょう。

戦争は人類に対する犯罪です。したがって、私たちは、いかなる戦争も支持せず、戦争のすべての原因を取り除くために努力することを決意します。

(了)

【翻訳 田中靖宏】